

■基調報告者



鄒 驥 〈ZOU Ji〉

中国人民大学環境学院副院長・教授

清華大学管理工程専攻修士課程修了，中国人民大学人口・資源と環境経済学専攻博士課程修了。経済学博士。清華大学社会科学系講師，中国人民大学環境経済研究所講師，副教授，同副所長を経て，2001年より現職。国連気候交渉中国代表団代表。主な研究分野は中国環境政策実施分析，中国エネルギー生産・消費の財政政策，グローバル気候保護国際協調メカニズムへの経済的分析。主な著書・論文に *Assessing Climate Technology Needs in Developing Countries: Concepts, Methodologies, and Experiences* (presented at the 2nd World Congress of Environmental and Resource Economists, AERE/EAERE, Monterey, CA, USA, June 24–27, 2002)，「開放経済と全球気候保護」(『中国資源環境形勢と可持続発展』経済科学出版社，2001)，「関与联合国気候談判中“靈活機制”問題的理論と政策背景分析」(『能源と発展：全球化条件下的能源と環境政策』中国計劃出版社，2001)がある。



柳下正治 〈YAGISHITA Masaharu〉

名古屋大学大学院環境学研究科教授

1971年東京大学工学部都市工学科卒業，同年厚生省入省，1977年環境庁に移る。地球環境部環境保全対策課長，同企画課長，国立環境研究所環境研修センター所長を経て，2001年より現職。国際協力機構(JICA)日中友好環境保全センタープロジェクトフェーズ3国内支援委員会委員。主な研究分野は市民参加型循環型社会の創生，持続可能な交通，北東アジアにおける経済社会の進展に応じた地域環境政策／協力の形成。主な研究成果に「バルト海沿岸地域の環境政策の東アジアへの適用に関する調査報告書」(地球環境戦略研究機関，2003)，「バルト海沿岸地域及び東アジア地域における環境政策面での地域比較研究」がある。

■パネリスト



鄧 南 聖 〈DENG Nansheng〉

武漢大学資源と環境科学院環境科学系主任・教授

1969年武漢大学化学系卒業後，同大講師，副教授を経て現職。教育部環境科学類専門教育指導部会委員，『水処理技術』編集委員，「自然水資源の有機汚染における藻類による光分解性の多因的メカニズム」研究プロジェクト(中国自然科学資金NSF)リーダー等を兼任。主な研究分野は環境分析化学，工業生態学，科学汚染制御及び環境管理論。主な著書に『環境化学』，『工業生態学——理論と応用』，『環境光化学』がある。



魯 奇 〈LU Qi〉

中国科学院地理科学・資源研究所農村発展及び土地利用研究室主任・研究員，愛知大学COE 訪問教授

杭州大学地理学部修士課程修了，中国社会科学院研究生経済学専攻博士課程修了。経済学博士。中国科学院地理研究所PD，副研究員を経て，1997年から現職。同研究所農村発展及び土地利用研究室主任。2004年9月から愛知大学国際中国学研究センター訪問教授を兼任。主な研究分野は中国農村経済の持続的発展研究と農業生態系と都市部との関係など。主な著書に『中国生態環境警示』(共著，中国環境科学出版社，2003年)，『中国農業資源態勢・優化配置と合理布局』(共著，科学出版社，2002)，『人と環境』(中国科学技術出版社，1993)がある。



内嶋善兵衛 (UCHIJIMA Zenbei)

元宮崎公立大学学長

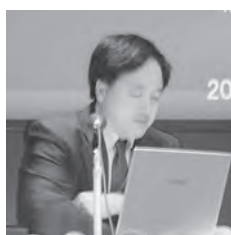
宮崎大学宮崎農林専門学校卒。農林省農業技術研究所研究員，研究室長，農水省農業環境技術研究所気象管理科長を経て，1987年お茶の水女子大学理学部教授，1990年同大学大学院人間文化研究科担当，1995年同大学退官。1995年宮崎公立大学人文学部教授，同学部長を経て，1997年同大学学長。2003年宮崎公立大学を退職し，非常勤講師として地球環境論を論ず。主な研究分野は農業気象学と環境科学，特に植物生産への地球温暖化の影響。主な著書に『日本の自然——九州』（岩波書店，1995），『日本の気候』（岩波書店，1996），『宮崎の四季と気象』（鉦脈社，2003）がある。



後藤尚弘 (GOTO Naohiro)

豊橋技術科学大学エコロジー工学系助教授

東京大学大学院工学系研究科博士課程（化学工学）修了。財団法人地球環境産業技術研究機構，日本エヌ・ユー・エス株式会社，豊橋技術科学大学エコロジー工学系助手を経て，2001年より現職。主な研究分野は物質フロー解析，循環社会工学。主な著書に『ゼロエミッション型産業をめざして』（共著，シーエムシー，2001），『エコテクノロジー入門』（共著，朝倉書店，2001），『屋久島ゼロエミッション』（共著，海象社，2004）などがある。



宋 献方 (SONG Xianfang)

中国科学院地理科学・資源研究所教授

河北地質大学卒。長春地質大学水文地質学・応用地質学専攻修士課程修了，筑波大学地理学・水文学専攻博士課程終了。博士（理学）。科学技術庁防災科学技術研究所先端解析技術部，農林水産省農業環境科学研究所地球環境研究部研究員を経て，2001年より現職。主な研究分野は水文学，リモート・センシング，地球科学。主な論文に A study of groundwater cycle using stable isotope in Sri Lanka（共著），Conceptual model of evolution of groundwater quality at the zone in Sri Lanka（共著）がある。



高 玉葆 (GAO Yubao)

天津師範大学副学長

内モンゴル大学草原生態学専攻修士課程修了。英国ウェールズ大学草原生態学専攻博士課程修了，Ph.D.。南開大学生物学系副教授，生命科学学院教授，研究生院長を経て，2004年から現職。主な論文に Role of wind-sand disturbance in the formation and development of Tamarix taklamakanensis community (*Acta Botanica Sinica*, 22, 2002), Tactic phase and potential of grass plantation in Horqin sand land (*Journal of Desert Research*, 2003), A comparative study on photosynthesis and morphological characteristics of *Salix gordejvii* between regenerated shoots and standing shoots (*Acta Ecologica Sinica*, 45, 2003) がある。



一ノ瀬俊明 (ICHINOSE Toshiaki)

独立行政法人国立環境研究所地球環境研究センター主任研究員

東京大学理学部卒。東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。工学博士。林野庁勤務，東京大学助手を経て，1996年より現職。主な研究分野は都市熱環境，中国環境問題，北東アジア環境展望。主な著書に『地球環境と巨大都市』（岩波書店，1998）がある。



大澤正治 (OSAWA Masaharu)

愛知大学経済学部教授

慶応義塾大学商学部卒。2001年より現職。「環境負荷の軽減及び最適配分を実現する大都市近郊農村連携経済社会の制度設計と実施方策に関する研究」課題責任者、長野県上松町、下条村、山梨県高根村等地域エネルギービジョン策定委員会委員長などを兼任。主な研究分野は環境経済、エネルギー経済。主な著書に『廃棄物とリサイクルの公共政策』（共著、中央経済社、2002）、『循環型社会の公共政策』（共著、中央経済社、2002）、『地方自治体の廃棄物処理政策の現状と課題』（愛知大学中部地方産業研究所、2002）がある。



劉昌明 (LIU Changming)

中国科学院院士，中国科学院水問題連合研究センター主任

西北大学卒，モスクワ大学大学院修了。アリゾナ大学水文学部，千葉大学環境リモート・センシングセンター客員教授などを歴任。中国科学院地理科学与資源研究所助手，副教授を経て，1985年から教授。1995年に中国科学院院士。1997年から北京師範大学資源・環境学院院長を兼任。現在も国際測地・地球物理学 (IUGG) 副委員長，国際地理学会 (IGU) 副会長等を務める。主な研究分野は水文学，自然地理学，地球科学。主な著書・論文に South-to-North water transfer schemes in China (*International Journal of Water Resources Development*, Vol. 18 (3), 2002), Freshwater resources management in China: Case study of the Yellow River Basin (*International Review for Environmental Strategies*, Vol. 3 (2), 2002), Hydrological cycle changes in China's Large River Basin: The Yellow River drained dry (ed. by M. Beniston, *Climatic Change: Implication for the Hydrological Cycle and for Water Management*, 2002) がある。

■コーディネーター



梶根 勇 (KAYANE Isamu)

筑波大学名誉教授，愛知大学 COE フェロー [国際中国学研究センター委員]

東京教育大学大学院修了，理学博士。筑波大学地球科学系教授，愛知大学現代中国学部教授を経て，「21世紀 COE プログラム」採択に伴い COE フェロー。主な研究分野は水文学と環境問題，特に「自然と人間の関係」に関心がある。主な著書に『水文学』（大明堂，1980），『地下水の世界』（NHK ブックス，1992），『水と女神の風土』（古今書院，2002）がある。